

管内名	宇城	学校名	宇土市立宇土東小学校
-----	----	-----	------------

1 学力向上に向けた学校全体としての取組

昭和62年の開校以来、県指定「学力充実」の研究発表会、通算15回の算数科自主研究発表会を開催し、多くのご参会の先生方からの指導、助言を次年度へ生かしながら、継続して研究を進めてきた。そして、今まで本校に勤務するすべての教職員により受け継がれてきている学力向上への熱い思いを、学校全体の取組として共通理解を図り、以下のことに取り組んでいる。

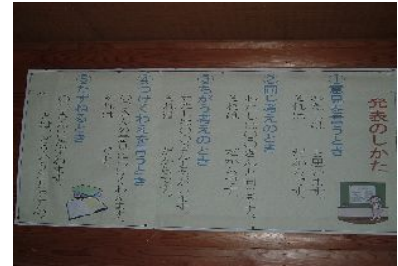
(1) 学力充実の基盤整備

ア 学級経営の充実

好ましい人間関係をつくりあげることで、児童が間違いを恐れず堂々と発表したり、伸び伸びと活動したりするように努めている。日ごろからのきめ細かな指導の充実を図っている。

イ 望ましい学習態度の育成

話の聞き方、発表の仕方など、基本的なことを常に意識して指導していくように努めるとともに、全学級に掲示して指導の徹底を図っている。



発表の仕方

(2) 教育カレンダーの有効活用

授業時数の適正な確保を目指し、月ごとの集計を教務・教頭・校長で点検し、見届けている。

(3) 週指導計画簿の活用

各教科の指導内容を振り返り、次時へつなげるために、毎時間、単元や学習内容、授業後の反省等を記入している。毎月提出し、教頭・校長が確認するとともに励ましや助言等を記入し、授業実践への意欲を高めている。

(4) 週日課の工夫

ア 基礎的・基本的事項の定着を図る「チャレンジタイム」の位置づけをしている。

「チャレンジタイム」は、毎月、第3・4木曜日の2校時を国語・算数として位置づけ、主にプリントによるドリル学習を行うもので、個に応じた基礎的・基本的事項の習熟を図っている。実施回数は、年間16回とし、年度当初に年間指導計画を作成し、計画的に実施している。ドリルに使う問題は、教科書やゆうチャレンジ、学校備え付けの問題集等で、学年毎に該当学年の問題文を（過去問題）をファイルし、設置コーナーを設け、いつでも印刷して取り組めるようにしている。また、思考力や表現力を育てる内容や発展的な内容も取り入れるようにしている。



チャレンジタイムの様子

イ 木曜の放課後、「のびっ子タイム」と称して、全校あがでの習熟学習の時間を設定している。

「のびっ子タイム」は毎週、木曜日の放課後に20分間の個別指導を行う時間を設定し、習熟を図る時間としている。この時間は、週時程に位置づけており、全校一斉に行っている。また、校長、教頭、教務、算数TT、専科等が、時間帯をずらしながら全学年に出向き、複数の指導者によって個に応じたきめ細やかな指導ができる体制を整えている。



担任外による個別指導

ウ 業間活動を削減（実施は月曜日のみ）し、火曜日は児童会活動、水曜日は校内研修、木曜日は「のびっ子タイム」、金曜日は全職員の共通実践が徹底するように各種推進委員会（※）の時間を確保をしている。

※各種推進委員会	第1週 校内研究（学力充実）	第2週 人権教育
	第3週 特別支援教育	第4週 生徒指導

エ 職員朝会を週2日実施（月、水）。生活朝会を週1日設定（金）し、生徒指導や人権

教育の充実に努めている。火曜日と木曜日は、担任は朝自習の指導に赴き、学力の充実に努めている。

オ 毎月第1週を読書週間とし、月～金すべて読書、音読を実施している。これにより、読む力、読解力の向上を目指している。

カ 朝自習での共通実践（月：国語、火：全校読書、水：クラスで、木：算数、金：音読）

朝自習について					
第1週					
月	火	水	木	金	
読書	読書	読書	読書	読書	
担任も（読み聞かせ）			担任も		
月の第1火曜日					
第2週以降					
月	火	水	木	金	
国語	読書	クラスで	算数	読書	

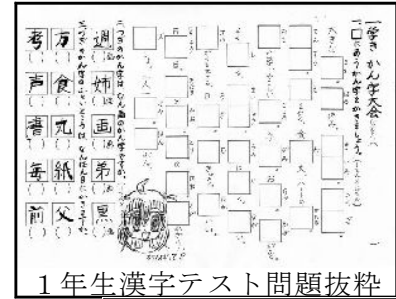
朝自習計画

(5) TT授業の積極的な推進

各学年の算数授業については、全学年算数TTを充て、充実した指導ができるようにしている。また、単元によっては少人数指導も高学年で実施している。

(6) 漢字・計算大会

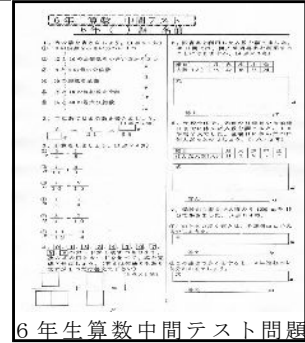
各学期の漢字力・計算力の定着を知り、今後の児童の指導に生かしていくために、学期始めに漢字、計算テストを実施している。学校全体で取り組むことで、より基礎的・基本的な学力の定着を図ることができている。



(7) 中間決算テストの実施

10月に中間決算テストを位置づけ、現時点での学級の学力（基礎・基本）の定着度を把握して、今年度後半への学習指導に活かしていくとともに、児童の学習意欲の喚起を図り、読解力・思考力・表現力を向上させる機会として中間決算テストを実施している。

実施後は、学級毎に平均点を出し、結果の分析や考察を行い、今後の対策を立て事後指導に努めるとともに、学校全体の課題把握に努め、改善に役立っている。



(8) 学習環境の整備

各教室に算数コーナー（掲示スペース）を設け、日ごろの学習を振り返ることができるようにしている。また、教室前の廊下等にも、様々な掲示コーナーを設置し活用している。

また、子どもたちの日常生活と結びつけた設営や既習事項をまとめた設営など算数的環境を整えたり、日常的に実際の数量を感覚的に体験したりして子ども達の興味・関心を高める環境づくりに取り組んでいる。



3年生算数コーナー 6年生廊下の算数問題

(9) 読書活動の充実

子どもたちが、多くの言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするために、本と触れ合う機会の確保や環境づくりを進めている。

ア 朝自習の活用

毎月第1週のすべての時間と第2週から4週の週2回を読書活動の時間と位置づけている。

また、子ども自身が読書の楽しみを感じ、意識して読書に親しむように、各学級で図書室の活用を呼びかけたり、保護者や職員による読み聞かせを行ったりしている。さらに、曜日を統一するなど、全校一斉に行うことで、静かな環境での読書ができるようにしている。



広場の面積図

踊り場のハノイの塔の問題

イ 親子読書の実施

保護者と児童と一緒に読書をすることで、親子のコミュニケ



職員による読み聞かせ

ーションを深めるとともに、家庭における読書活動の充実を図るようにしている。毎月、親子読書カードを作成し、保護者にも実施状況や、実施した感想などを記入してもらい、親子で継続的に取り組んでもらうための意識付けを図っている。

「お父さん、お母さんと一緒に読めてうれしかったです」「ゆっくり本を読む時間を久しぶりに過ごしました。これからも、子どもとの時間を大切にしたいです」といった児童や保護者からの感想も寄せられている。親子読書便り「親子読書推進」を不定期であるが学校より発行している。

ウ P T A図書委員会の活動（昼のお話し会：学期1回程度、夜のお話し会：年1回）やボランティアによる朝自習時の読み聞かせ等の協力のもと、読書活動の充実を図ったり、読み聞かせ通信の取組を行ったりして子ども達の読書への興味・意欲付けを図っている。

〇保護者の感想
「親子で読書をするのは、子どもが読書に興味を持つきっかけになると思います。親子で読書をするのは、子どもが読書に興味を持つきっかけになると思います。親子で読書をするのは、子どもが読書に興味を持つきっかけになると思います。」

〇児童の感想
「お父さんとお母さんと一緒に読書するのは、とても楽しいです。お話を聞いたり、一緒に読んだりするのは、とても楽しいです。お話を聞いたり、一緒に読んだりするのは、とても楽しいです。」

〇保護者の感想
「親子で読書をするのは、子どもが読書に興味を持つきっかけになると思います。親子で読書をするのは、子どもが読書に興味を持つきっかけになると思います。親子で読書をするのは、子どもが読書に興味を持つきっかけになると思います。」

〇児童の感想
「お父さんとお母さんと一緒に読書するのは、とても楽しいです。お話を聞いたり、一緒に読んだりするのは、とても楽しいです。お話を聞いたり、一緒に読んだりするのは、とても楽しいです。」

親子読書の感想



昼のお話し会

(11) 家庭との連携

学力充実のためには、家庭との連携を深め、家庭学習を充実させることが重要である。家庭の理解を求めながら、「家庭学習の手引き」を低・中・高学年毎に、児童の実態に合わせて作成し、児童が自分で学習できるよう学習内容や仕方について指導したうえで各家庭に配布している。また、保護者にも趣旨を伝え、家庭学習の大切さを理解してもらい、学校と家庭が連携して基礎学力の向上に努めている。

その結果、ほとんどの児童は意欲的に家庭学習に取り組み、宿題等の課題忘れもなくなってきた。

子ども達の学力向上の基盤となる学習訓練や条件整備、チャレンジタイムやのびっ子タイム、中間テスト等の様々な計画的で継続的な取組について全職員が共通理解を図ることで、子ども達が落ち着いて学習に取り組む環境ができ、自己の力を最大限に発揮できるようになってきている。また、ゆうチャレンジの過去の問題や発展的な問題等も準備することで、個に応じた細やかな指導をすることができた。そして、複数の指導者による見届けができ、学力向上につながっている。

家庭学習の手引き (5, 6年生)
宇土東小学校 高学年部

学習する時間
60分+読書(15~20分)
少ないと、90分(1時間)以上学習しよう。
学習内容は児童の実態に合わせ、この時間をこまめに振り分けてください。

学習内容
1 基礎的な単元の学習
①基礎的な単元の学習(教科書)の学習
②教科書の学習(教科書)の学習
③教科書の学習(教科書)の学習
④教科書の学習(教科書)の学習
⑤教科書の学習(教科書)の学習
⑥教科書の学習(教科書)の学習
⑦教科書の学習(教科書)の学習
⑧教科書の学習(教科書)の学習
⑨教科書の学習(教科書)の学習
⑩教科書の学習(教科書)の学習

家庭学習は、勉強したことをきちんと振り返るために大切です。
こんなことに気を付けて！
1. 学習の進捗や理解度を確認し、必要に応じて質問を尋ね、理解を促す時間をもちたいです。
2. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
3. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
4. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
5. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
6. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
7. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
8. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
9. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。
10. 教科書の学習が理解できているかを確認しよう。

高学年家庭学習の手引き